

○LRTの特徴

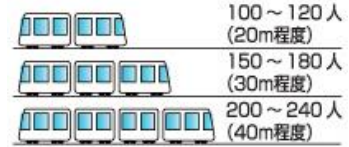
◇ユニバーサルデザイン

- 超低床車両（歩道とほぼ同じ高さ）によるスムーズな乗り降り
- わかりやすさ（軌道敷や電停の存在）
- 大きな窓による明るい車内
- 静かで揺れの少ない室内環境



◇柔軟な輸送力

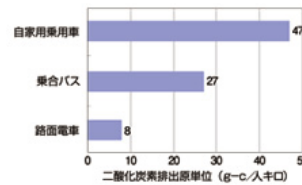
- 大量輸送能力
- 需要に応じた列車編成
- 接続車両による輸送力の向上



◇環境への配慮

- バス・自動車に比べてCo2排出量が少ない
- 大量輸送能力
- 芝生軌道による都市の緑化、吸音効果、ヒートアイランド現象の緩和

旅客輸送機関の二酸化炭素排出原単位



同じ人数をLRT、路線バス、自動車それぞれの輸送を想定したイメージ比較

◇柔軟な走行性・路線設定

- 幅広い速度性能（最高速度60～80km/h）
- 急曲線でも走行可能
- 優れた加減速性能
- 道路上を走行



◇定時性・速達性

- レール（軌道）の設置
- 交差点信号待ち時間の短縮（優先信号の導入）

◇シンボル性・デザイン性

- 個性的な都市景観の形成
(車両・電停等のトータルデザイン、ライトアップ等による新たな景観形成)

◇まちづくりへの寄与

- LRTが設置される沿線での商業施設、事業所や居住環境などの開発促進
- 公共交通ネットワークの形成
⇒（交流・定住人口の増加、まちの賑わい活性など）